



日本シティズンシップ教育フォーラム
2018 年度 事業報告書

(2018.01.01～2018.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋1丁目2番20号ハイツアメニティII-203号室
mail：info@jcef.jp web：http://jcef.jp

目次

1. 2018年度事業のハイライト	2
2. 2018年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	4
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	9
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	11
(4) その他	12
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2018年度事業のハイライト

- (1) 「想像力のスイッチをどう起動させるか？」を全体テーマに「第5回シティズンシップ教育ミーティング」を開催。日本全国から186名の方々が参加。
- (2) 「スウェーデンに学ぶ若者の社会参加」をテーマに「J-CEFクロストーク vol.8」を開催。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」は神戸・京都の2地域で15回開催。
- (4) 機関誌「J-CEF NEWS」14号から16号を発行。
- (5) 「シティズンシップ教育人材養成講座」は西日本会場で1回、東日本会場では連続講座として4回開催。

2. 2018年度事業実施体制

J-CEFでは、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて3つの部会を設置した上で、事務局にスタッフを配置し、その執行にあたっています。

■役員

【運営委員】

- 代表 原田謙介（NPO法人YouthCreate代表理事）
古田雄一（大阪国際大学短期大学部専任講師）
- 副代表 黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）
- 委員 大畑方人（都立高島高等学校教諭）
唐木清志（筑波大学大学院人間系教授）
川口広美（広島大学大学院教育学研究科准教授）
川中大輔（龍谷大学社会学部講師／シチズンシップ共育企画代表）
斉藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター講師）
土肥潤也（NPO法人わかものまちな代表理事／早稲田大学大学院社会科学研究所修士課程）
西野偉彦（公益財団法人松下政経塾研修局主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）
林 大介（首都大学東京特任准教授／模擬選挙推進ネットワーク代表／東洋大学ボランティア支援室ボランティアコーディネーター）
東 大地（NPO法人Mielka理事）
古野香織（東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程）
若槻 健（関西大学文学部教授）

【顧問】

- 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）
長沼 豊（学習院大学文学部教授）
中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
水山光春（青山学院大学教育人間学部特任教授）

【監事】

- 市川享子（東海大学健康学部講師）
岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）

〈ネットワークング部会〉

中村陽一，川口広美，川中大輔，黒崎洋介，林大介，原田謙介，古田雄一，藤枝聡（専門委員）

〈高校生ソーシャルデザイン・スクール検討タスクチーム〉

小玉重夫，大畑方人，川中大輔，杉浦真理，土肥潤也，中村陽一

〈シチズンシップ教育研究大会検討タスクチーム〉

唐木清志，川口広美，川中大輔，斉藤仁一朗，古田雄一，古野香織

〈出版企画検討タスクチーム〉

唐木清志，川中大輔，西野偉彦，古田雄一，水山光春

〈J-CEF スタディ・スタジオ担当委員〉

KOBE スタジオ：川中大輔，若槻健

KYOTO スタジオ：川中大輔，東大地

〈シティズンシップ教育推進人材養成担当委員〉

西日本会場：杉浦真理，東大地，川中大輔

東日本会場：大畑方人，黒崎洋介，齊藤仁一郎，原田謙介，古野香織

■事務局

事務局長/会計責任者 川中大輔

事務局スタッフ 赤石誠一郎、東大地、古田雄一、安井悠一郎（五十音順）

■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第15回	2018年3月5日 17:00～19:00	東京大学/龍谷大学	2017年度決算案および事業報告案の承認、 2018年度予算案および事業計画案の策定 規約改正について
第16回	2018年5月27日 15:00～17:00	東京大学/龍谷大学	2018年度の事業推進方法について、集中審議 開催について、言語文化教育研究会年次大会 共催について
第17回	2017年10月4日 18:00～21:00	立教大学/龍谷大学	「高校生ソーシャルデザインスクール(仮称)」 の企画検討について、「シティズンシップ教育 研究大会」の企画検討について、出版企画につ いて

※8月9日に予定されていた集中審議は台風のため開催できず、第17回会議の審議時間を延ばすこととした。

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第5回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第5回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。

【開催概要】

○日時：2018年3月24日（土）13時～3月25日（日）17時

○場所：立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館・12号館・10号館

○テーマ：想像力のスイッチをどう起動させるか？

－『ポスト真実』の情報環境下におけるシティズンシップ教育を考える－



○参加者：186名（会員36名，非会員59名，学生61名，登壇者23名，スタッフ登録のみ7名）

○共催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼全体会「想像力のスイッチをどう起動させるか？-『ポスト真実』の情報環境下におけるシティズンシップ教育を考える-」

- ・キーノートスピーカー：
下村健一さん（情報スタビライザー）
桑原敏典さん（岡山大学大学院教育学研究科教授）
- ・コメンテーター：小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）
- ・パネリスト：岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
伊藤久仁子さん（共立女子第二中学校高等学校教諭）
- ・ファシリテーター：亀井善太郎さん（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

▼自由発表セッション

〈研究発表〉

- ・野崎志帆さん（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）
「多文化共生のためのシティズンシップ教育プログラム：プログラムの背景とねらいとは？」
- ・松田ヒロ子さん（神戸学院大学現代社会学部准教授）
「多文化共生のためのシティズンシップ教育プログラム：授業を実践する先生たちが必要とする背景知識とは？」
- ・今陽童さん（昭和第一学園高等学校常勤講師）
「部活動を通じたシティズンシップ教育」
- ・佐々木正裕さん（愛知県新城市役所企画部まちづくり推進課）
若者議会委員の高校生・大学生
「新城市若者議会 シティズンシップ教育への挑戦」
- ・浜田未貴さん（東京大学大学院教育学研究科修士課程）
「『政治は実は身近だよ』を再考する-C・ムフの政治思想を手掛かりに-」
- ・沼尾優希さん（京都大学公共政策大学院／主権者教育研究会）
「政治学は模擬投票に活かせるか」
- ・川上英明さん（東京大学大学院教育学研究科）
「シティズンシップ教育における感性的なものの位置づけ：J.ランシエールの『感性的なもののパルターージュ』に着目して」
- ・大前吉史さん（兵庫県立兵庫高等学校教諭）
佐藤紅音さん（兵庫県立兵庫高等学校生徒）
- ・樋口大夢さん（東京大学大学院教育学研究科修士課程）

「学校における市民性と複数性—ハンナ・アレントに着目して」

〈実践発表〉

- ・中谷佳子さん（千葉県船橋市立飯山満小学校／千葉県長期研修生として千葉大学教育学部竹内研究室所属）
「地域社会の一員としての主権者意識を育む社会科授業～『循環』を視点とした4年『くらしをささえる水』『ごみの処理と利用』の単元構成を通して～」
- ・白石美咲さん（日進市にぎわい交流館館長）
「市民活動支援センターからのシティズンシップ教育～NPO インターンシップとマイプロジェクトで高校生の『自分ごと』を育む～」
- ・野村泰介さん（中国学園大学子ども学部講師）
「『私だけの選挙手帳』の使い方」
- ・古塚明日人さん（兵庫県立農業高等学校定時制課程）
「夜間定時制高校生と地域社会の接続についての取り組み」（実践発表）
- ・橋本 渉さん（東京大学教育学部附属中等教育学校教諭）
宮田佳那子さん，市村一真さん，東明さや香さん，井手琴真さん，内藤彪晶さん
（東京大学教育学部附属中等教育学校生徒）
「討論を用いた探究的授業」
- ・土肥潤也さん（NPO 法人わかもののみち静岡代表理事／早稲田大学大学院社会科学研究科修士課程）
「子ども・若者の市民としての参画と地域にもたらす影響」
- ・室田悠子さん（神奈川学園中学校高等学校社会科教諭）
「新聞スクラップの取り組みから見る社会への視点の変化～情報から考える力の育成と学校カリキュラムの連関～」

〈授業体験〉

- ・菅間正道さん（自由の森学園高等学校教頭）
「憲法ってなあに？えん罪と日本国憲法—中学公民 憲法学習の導入より—」
- ・窪田勉さん（兵庫県立兵庫高等学校教諭），片田孫朝日さん（灘中学校・高等学校教諭）
「多文化共生のためのシティズンシップ教育プログラム：外国人の賃貸契約問題を動画教材を使って考える」

▼分科会

〈第一セッション〉「議会・政治家と学校をつなぐ～政治を安心して扱うには？～」

- ・ゲスト：西野偉彦さん（公益財団法人松下政経塾研修局主担当）
原田謙介さん（NPO法人YouthCreate代表理事）
- ・コーディネーター：林 大介さん（模擬選挙推進ネットワーク代表）

〈第二セッション〉「高校から大学への主権者教育の接続を考える」

- ・ゲスト：小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）
菅間正道さん（自由の森学園中学校・高等学校教諭）

高大連携型主権者教育プログラム参加の大学生・高校生

- ・コーディネーター：藤枝 聡さん（立教大学調査役）

〈第三セッション〉「キャリア教育とシティズンシップ教育はどう結びついているか？」

- ・ゲスト：吉村功太郎さん（宮崎大学大学院教育学研究科教授）

梶野光信さん（東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課統括課長代理）

- ・コーディネーター：黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

〈第四セッション〉「シティズンシップ教育を実践する教員に求められる資質や能力とは？」

- ・ゲスト：大畑方人さん（都立高島高等学校教諭）

杉浦真理さん（立命館宇治高等学校教諭）

市川亨子さん（東海大学健康科学部講師）

- ・コーディネーター：水山光春さん（京都教育大学教育学部教授）

〈第五セッション〉「シティズンシップの実践を深める～学校・企業連携の可能性～」

- ・ゲスト：藤木正史さん（東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭）

目黒俊史さん（杉並区立杉並和泉学園教諭）

亀岡点さん（いわき市立平第三中学校教諭）

高田彩香さん（株式会社りそなホールディングスコーポレートコミュニケーション部CSR推進室）

竹元賢治さん（インテル株式会社インダストリー事業本部教育事業開発推進担当部長）

- ・コーディネーター：唐木清志さん（筑波大学人間系教授）

▼高校生・大学生発表セッション

〈研究発表〉

- ・阿部哲也さん，光明大地さん，三浦詩織さん，水野佑都さん（早稲田大学法教育研究会）

「日本における生徒会活動の歴史-シティズンシップ教育としての生徒会活動の観点から-」

- ・佐藤官弘さん（東京大学教育学部附属中等教育学校）

「東北の『今』を発信するには」

- ・山田璃々子さん（田園調布雙葉高等学校）

「主権者教育の現場調査報告～若者の若者による若者のための政治教育とは～」

〈実践発表〉

- ・栗本拓幸さん（生徒会活動支援協会／浅野高等学校）

「学校外における生徒会ネットワークによる高校生の社会参画」

- ・山本 葵さん，黒松 凜さん（兵庫県立兵庫高等学校）

「外国人対応におけるやさしい日本語の有効性」

- ・東 直輝さん，藤田小花さん（兵庫県立兵庫高等学校）

「神戸市の漁業体験を通じて得た学び」

- ・堀上駿太さん・藤田みのりさん・成田隼人さん（兵庫県立兵庫高等学校）

「神戸市長田区の動画コンテストを通じた学び」

- ・山田龍之介さん(静岡県選挙管理委員会若者選挙パートナー/富士宮高校会議所/星陵高等学校)
- 山田真瑚さん(富士宮高校会議所/法政大学キャリアデザイン学部)
- 「未来を生きる若者と共創 ～より良い社会を目指して～」

▼クロージング

■「J-CEF クロストーク」vol.8 を開催

シティズンシップ教育に関する最新動向を取り上げて、複数のゲストを招き、多角的な検討を行うことを目的として、「J-CEF クロストーク」を開催しました。



【開催概要】

- テーマ：スウェーデンに学ぶ若者の社会参加
- 日時：2018年6月29日(金) 19時～21時15分
- 場所：キャンパスプラザ京都 龍谷大学講習室(京都府京都市)
- 参加者数：12名
- ゲスト：小野航汰さん(NPO法人わかものまちな副代表理事)
水野篤夫さん(京都市ユースサービス協会調査研究担当シニアユースワーカー)
- コーディネーター：川中大輔(シチズンシップ共育企画代表/龍谷大学社会学部講師)

■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に関する報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を3地域において開催しました。



〔KOBE スタヂオ〕

- ・vol.30(1/10)「名前と日本人」(模擬授業体験)
(話題提供者：片田孫朝日さん/灘中学校・高等学校教諭)
- ・vol.31(2/28)「現代社会をおもしろく伝えるー立命館宇治高校での実践」(模擬授業体験)
(話題提供者：沼尾優希さん/主権者教育研究会・京都大学公共政策大学院)
- ・vol.32(5/16)「多文化共生のためのシティズンシップ教育～外国人の賃貸契約問題を、動画教材を使って考える～」(模擬授業体験)
(話題提供者：窪田勉さん/兵庫県立兵庫高等学校教諭)
- ・vol.33(6/20)「シティズンシップ教育から『部活動』を考えてみる」
(ファシリテーター：川中大輔/シチズンシップ共育企画代表・龍谷大学社会学部講師)
- ・vol.34(7/18)「スウェーデンの若者参加からの学びを分かち合う～視察報告と来日講演を受けて～」
- ・vol.35(9/26)「大学生は海外での体験学習をとおして何を学んでいるのかーサービスラーニングを経験した学生のふりかえりレポートからー」
(話題提供者：尾崎慶太さん/関西国際大学教育学部講師)

- ・ vol.36 (11/28) 「どのような地域教育を学校で展開すべきなのか？」
(話題提供者：藤澤文徳さん／兵庫県立大学環境人間学部)
- ・ vol.37 (12/26) 「シティズンシップ教育をグローバル化の観点から考える」
(J-CEF NEWS の特集記事を読んで対話する)

(2015年7月より毎月第一水曜日 19時～21時、市民活動センター神戸会議室にて開催)

〈KYOTO スタジオ〉

- ・ vol.18 (1/12) 「特別活動としての『生徒会活動』を考える—自治としての生徒会は可能なのか—」
(話題提供者：小原淳一さん／大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程)
- ・ vol.19 (2/9) 「現代社会をおもしろく伝える—立命館宇治高校での実践」(模擬授業体験)
(話題提供者：沼尾優希さん／主権者教育研究会・京都大学公共政策大学院)
- ・ vol.20 (5/11) 「『18歳成人』はシティズンシップ教育とどう関係しうるか？」
(話題提供者：川中大輔／シチズンシップ共育企画代表・龍谷大学社会学部講師)
- ・ vol.21 (9/28) 「コスタリカのシティズンシップ教育 (視察報告)」
(話題提供者：東 大地さん／NPO 法人 Mielka)
- ・ vol.22 (10/12) 「スウェーデンのシティズンシップ教育 (視察報告)」
(話題提供者：山本 大地さん／NPO 法人 Mielka)
- ・ vol.23 (11/30) 「子どもの遊びがまちを開く (ドイツ視察報告)」
(話題提供者：土肥潤也さん／NPO 法人わかものまちなち代表理事，早稲田大学大学院社会学研究科)
- ・ vol.24 (12/14) 「シティズンシップ教育をグローバル化の観点から考える」
(J-CEF NEWS の特集記事を読んで対話する)

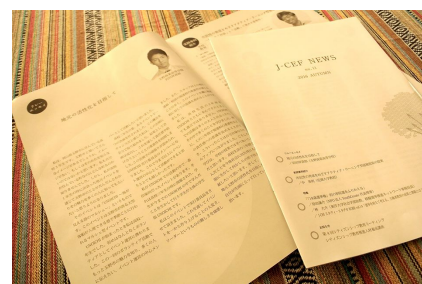
(2016年6月より毎月第2金曜日の19時～21時、キャンパスプラザ京都にて開催)

*2017年度より不定期で開催されていた TOKYO スタジオは「シティズンシップ教育推進人材養成連続講座」として実施した。

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ 「J-CEF NEWS」 vol.14-vol.16 を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。



【第14号・概要】

- 判型・ページ数：A4版 12ページ
- 発行部数：200部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「『ポスト・模擬選挙』へ～主権者教育=模擬選挙でいいの?～」
／古野香織（中央大学法学部政治学科）
- ・実践事例紹介「子ども達とともに立ち上げた『サギとの共生研究所』～『落とし所のない問題』
に向き合った半年間」
／三浦一郎（姫路市立手柄小学校教諭）
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」
／河原洸亮（広島大学大学院教育学研究科博士課程後期）
- ・連載「スウェーデンの学習サークルにみるシティズンシップ教育」
／両角達平（NPO 法人 rights 理事）
- ・推薦図書「教員に薦める 5 冊」
／黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高校教諭）
／杉浦真理（立命館宇治中学・高校教諭）
- ・書評「子どものための主権者教育」
／古田雄一（大阪国際大学短期大学部専任講師）

【第 15 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「政治教育における敵対性を再考する」
／浜田未貴（東京大学大学院教育学研究科修士課程）
- ・実践事例紹介「公害に向き合った市民の経験から学ぶ～あおぞら財団の教材開発の試み～」
／栗本知子（公益財団法人公害地域再生センター）
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」
／橋崎頼子（奈良教育大学准教授）
／松田ヒロ子（神戸学院大学現代社会学部准教授）
- ・連載「スウェーデンに学ぶ『若い政治』の作り方」
／両角達平（NPO 法人 rights 理事）
- ・推薦図書「NPO スタッフに薦める 5 冊」
／原田謙介（NPO 法人 YouthCreate 代表理事）

【第 16 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「嫌われる政治への関心を高めるにはどうするか」
／沼尾優希（京都大学大学院公共政策大学院・京都大学主権者教育研究会）

- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」
 - ／菊池かおり（筑波大学人間系助教）
 - ／大津尚志（武庫川女子大学学校教育センター講師）
 - ／藤原孝章（同志社女子大学現代社会学部特任教授）
- ・連載「スウェーデンの模擬選挙『学校選挙』が教える民主主義とは？事務局直撃インタビュー①」
 - ／両角達平（文教大学生生活科学研究所研究員）
- ・活動報告「シティズンシップ教育推進人材養成講座 2018」
- ・新刊紹介

■Webサイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告）を更新継続しています。会員同士のネットワーキングやノウハウ共有のプラットフォームとして活用できるよう、会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。

○URL：http://jcef.jp

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

■「シティズンシップ教育推進人材養成講座」の開催

シティズンシップ教育を実践する人材に必要な知識的理解とプログラム開発に必要な技能の習得を図る場として、人材養成講座を開催しました。



〔西日本会場〕

▼「出前授業での深い学びをつくりだす力を磨こう！」

- 日 時：2018年8月21日(火) 10:30～18:30
- 場 所：キャンパスプラザ京都 立命館大学講習室
- 講 師：越智大貴さん（NPO 法人 NEXT CONEXION 代表理事）
杉浦真理さん（立命館宇治中学高等学校教諭）
- コーディネーター：東 大地さん（NPO 法人 Mielka 理事）
- 参加者：11名

〔東日本会場〕

▼第1回「シティズンシップ教育に基づく新しい学校づくり・授業づくり」

- 日 時：2018年9月2日(日)13時～15時
- 場 所：東京大学医学部1号館S309
- 講 師：唐木清志さん（筑波大学人間系教授）

▼第2回「学校とシティズンシップ教育 部活動から考える」

○日 時：2018年9月23日(日) 13時～15時

○場 所：東京大学医学部1号館 S309

○講 師：長沼 豊さん（学習院大学文学部教授）

*この日の講座では「J-CEF スタディ・スタジオ」KOBÉ スタジオ vol.33 「シティズンシップ教育から『部活動』を考えてみる」でなされた検討も参考にしながらシティズンシップ教育から見た部活動とその改革について議論がなされました。ここでの議論は「第4回 部活動のあり方を考えるミニ集会」（12/16, 長沼研究室主催・J-CEF 後援）を経て、「部活動改革マップ」(ver.1)としてまとめられました。J-CEF ウェブサイト上にも公開していますので、ご覧ください。

▼第3回「家庭とシティズンシップ教育～個人の人生から考えよう～」

○日 時：2018年10月21日(日)13時～15時

○場 所：東京大学医学部1号館 S309

○講 師：木村裕美さん（都立高校家庭科教諭・「人間と社会」教科書執筆者）

▼第4回「特別支援とシティズンシップ教育」

○日 時：2018年11月10日（日）13時～15時30分

○場 所：東洋大学 白山キャンパス 5号館 5402 教室

○講 師：宮田 愛さん（東京都特別支援学校教諭）

■若者を対象とする表彰制度の創設

「シティズンシップ教育ミーティング」における高校生・大学生発表セッションの場を活用して、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の活動を後押しすべく、発表証明書を発行しました。今後、この形式を継続／発展させながら表彰制度の創設に結びつけていきます。

(4) その他

- ・2018年9月3日に東京大学にて、東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センターが主催された「Preparing Citizen Professionals: New Dimensions of Civic Education in Higher Education」を共催させていただきました。
- ・2018年12月16日に学習院大学にて、学習院大学文学部教育学科長沼豊研究室が主催された「第4回部活動のあり方を考えるミニ集会」を後援させていただきました。



4. 会計報告

別添資料参照

以上